



パワード・スピーカー

# PRX800W Powered Series



## 取扱説明書

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。  
この取扱説明書は、お読みになった後も、いつでも見られるところに保管してください。

# 安全上のご注意

取扱説明書には、お使いになる方や他の方への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。以下の注意事項をよくお読みの上、正しくお使いください。

注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。

 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

## 警告

- 必ず AC100V(50Hz/60Hz) の電源で使用してください。異なる電源で使用すると火災や感電の原因となります。
- 必ず専用の電源コードを使用してください。これ以外の物を使用すると火災の原因となります。また、電源コードは他の機器には使用しないでください。
- 電源コードの上に重い物を乗せたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったりしないでください。コードが破損して火災や感電の原因となります。電源コードが傷んだら、ただちに使用を中止して販売店に交換をご依頼ください。
- 確実にアース接続をしてください。また、アース線の着脱は電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。感電の原因となります。
- 水に入れたり、濡らさないでください。また、水が入った容器や金属片などを、機器の上に置かないでください。火災や感電の原因となります。
- 煙が出る、異臭がする、水や異物が入った、破損した等の異常がある時は、ただちに電源コードをコンセントから抜き、修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。
- 分解や改造は行わないでください。お客様が保守できる部品は内部にはありません。分解や改造は保証期間内でも保証の対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となります。
- 長時間使用しない時や落雷の恐れがある時は、電源コードをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因となります。また、雷が鳴り出したら金属部分や電源プラグには触れないでください。
- ポールマウントする場合や吊り下げて使用する場合は、十分な転倒/落下防止策を施し、定期的に保守点検を行ってください。転倒/落下によるけがや故障の原因となります。設置場所/器具の強度不足や設置方法の不備、経年劣化などが原因で発生した事故に関しては、弊社は一切の責任を負いかねます。

## 注意

- 必要な電流容量を安全に供給できるよう、適切な電源回路を用意してください。
- 事前に機器の重量を確認し、けがをしないように持ち運びや設置を行ってください。
- 斜面や不安定な場所に設置しないでください。転倒/落下によるけがや故障の原因となります。また、滑りやすい面に置くと音の出力エネルギーによってスピーカーが動いてしまう恐れがあります。ゴムマットを下に敷くなどの滑り止め対策を施してください。
- 以下のような場所に設置しないでください。火災や故障の原因となります。
  - ・直射日光のあたる場所
  - ・温度の特に高い場所、または低い場所
  - ・湿気の多い場所
  - ・ほこりの多い場所
  - ・振動の多い場所
  - ・塩害や腐食性ガスが発生する場所
- 通気性の良い場所に設置し、通気口は絶対に塞がないでください。熱がこもって、火災や故障の原因となります。
- 機器の移動は、電源コードや他の機器との接続ケーブルを全て外した上で行ってください。接続したまま移動すると、けがや故障、ケーブル破損の原因となります。
- 配線は、全ての機器をコンセントから抜き、取扱説明書に従って正しく行ってください。接続したまま配線すると、感電する恐れがあります。また、誤配線によるショート等は火災の原因となります。
- 濡れた手で、電源コードや他の機器との接続ケーブルの抜き差しをしないでください。感電の原因となります。
- 電源を入れたり切ったりする前に、各機器の音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴覚障害や機器の破損の原因となります。また、機器の電源を ON にする時は、スピーカーの破損を防ぐために一番最後に本機の電源を入れてください。電源を OFF にする時は、一番最初に電源を切ってください。
- 大きな音量に連続してさらされると、聴覚障害の原因となります。音量の設定は慎重に行ってください。
- 過大入力を加えないでください。また、長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となります。

## 電波に関するご注意

- 本機と端末が通信可能な距離は約 40m です。2.4GHz 帯の周波数を使用しているため、「本機と端末の間に障害物がある場合」「本機や端末を直接地面や床に置いた場合」「雨天時の屋外で使用した場合」「無線 LAN や電子レンジ等、電波を発信する機器が使われている場所で使用した場合」では、通信距離が短くなったり操作ができなくなる可能性があります。上手く動作しない場合は、障害物を取り除くか、使用場所を変更してください。
- 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
  - ・ 本機を分解 / 改造すること。
  - ・ 本機に貼ってある証明番号が印刷されたラベルをはがすこと。
- 本機が使用している 2.4GHz 帯は他の無線機器でも使用している場合があります。他の無線機器との電波干渉を防止するために、以下の事項に注意してご使用ください。

本機の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局（以下「他の無線局」）が運用されています。

  1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
  2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本機の使用場所を変えるか、運用を停止してください。
  3. 不明な点、その他お困りのことが起きたときは、以下の連絡先へお問い合わせください。

ヒビノ株式会社 ヒビノプロオーディオセールス Div.  
カスタマーサポート TEL : 03-5783-3110

### 【現品表示】



2.4 DS/OF 4

現品表示は以下のことを表しています。

この無線機器の使用周波数は 2.4GHz 帯で、変調方式は DS-SS/OFDM、与干渉距離は 40 m です。また、2.412MHz ~ 2.472MHz を使用し、移動体識別装置の帯域内での周波数の変更が可能です。

※本機には現品表示が印刷されたシールが同梱されています。現品表示のシールは本体の目立つところに貼ってください。

## 目次

---

安全上のご注意 .....	P. 2
電波に関するご注意 .....	P. 3
目次 .....	P. 4
梱包内容の確認 .....	P. 4
設置 .....	P. 5
背面パネルの各部の名称と機能 .....	P. 6
「PRX Connect」によるコントロール	
・ PRX Connect を使用するために必要なもの .....	P. 8
・ PRX Connect のダウンロードとインストール .....	P. 8
・ 端末との接続 .....	P. 8
・ PRX Connect の操作方法 .....	P.12
セットアップ .....	P.15
ファームウェアのアップデート .....	P.16
リセット .....	P.17
ブロックダイヤグラム .....	P.18
仕様 .....	P.19

## 梱包内容の確認

---

パッケージに次の物が入っていることを確認してください。

- 本体
- 電源コード
- 和文取扱説明書
- 保証書

# 設置

PRX800W Powered Series には、ステージモニターとしても使用できるモデル、ポールマウントができるモデル、吊り下げに対応したモデルがあり、様々な設置方法に対応します。以下の点に注意して設置を行ってください。

## 設置場所に関する注意点

- ・メインスピーカーとして使用する場合は、できるだけ観客の頭上より高い位置 (60 ~ 120cm 上方) に高域ドライバーがくるように設置してください。低い位置に設置すると後方の観客に良い音を届けることができません。
- ・ステージモニターとして使用する場合は、横向きにして置きます。この方法で設置すると前方や後方に転がりやすくなります。注意してください。
- ・スピーカーから出力された音をマイクロホンが拾わないように、設定位置に注意してください。ハウリングの原因となります。
- ・ターンテーブルのトーンアームが本機の出力を拾うと、増幅されてハウリングが起きる可能性があります。ターンテーブルから離して設置してください。DJ ブースで使用する場合は、重量のある硬いターンテーブル・ベースやショックマウントを使用すればハウリングを抑制できます。

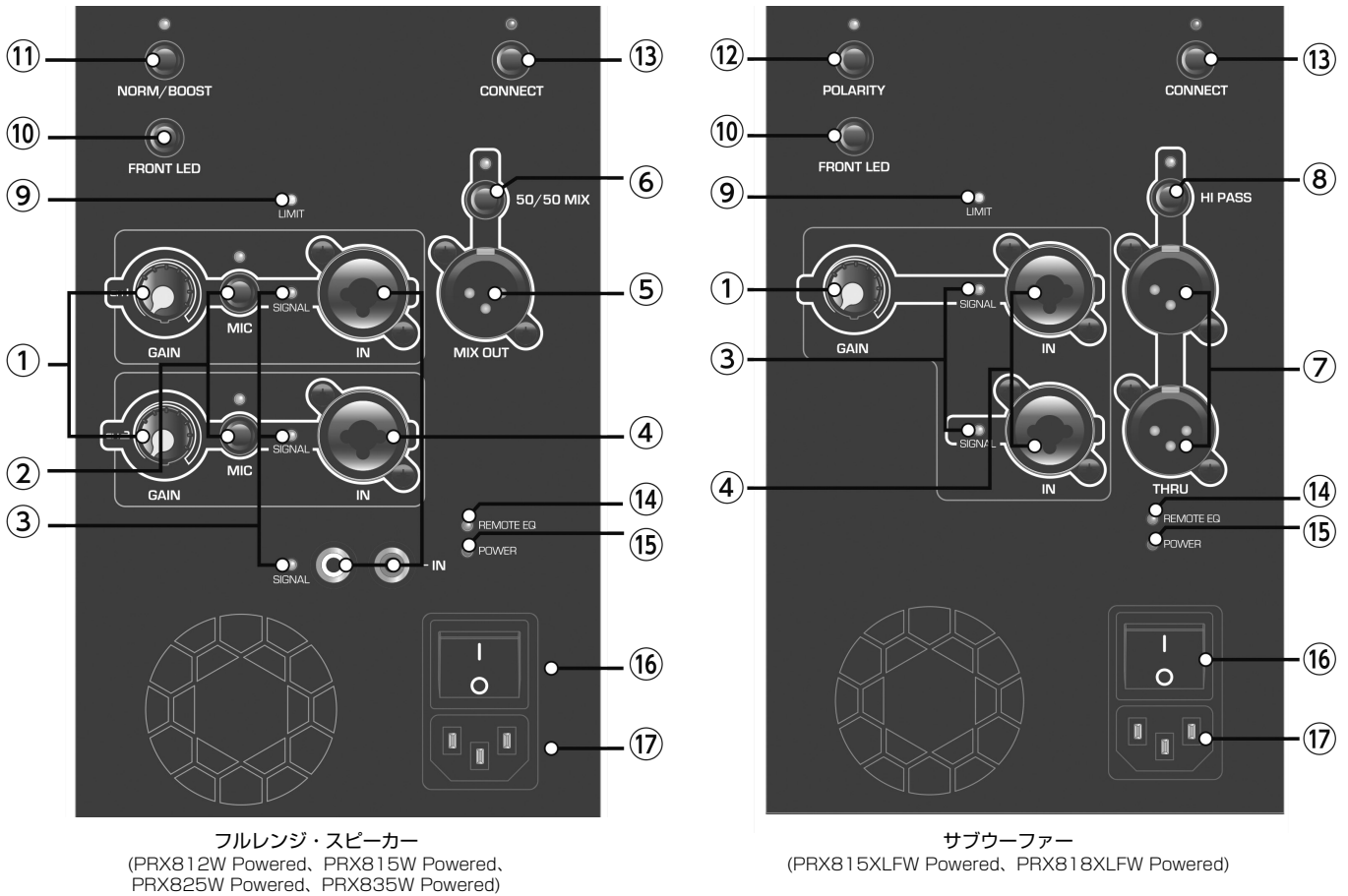
## ポールソケットを使用してポールマウントする場合の注意点

- ・ポールマウントする場合は、スタンドやポールを奥までしっかりとポールソケットに差し込んでください。
- ・本機の重量を 1 人で確実に支えられる場合を除き、スタンドまたはポールへの設置作業は 2 人以上で行ってください。
- ・本機の重量を支えられる耐荷重を持つスタンドまたはポールを使用してください。
- ・スタンドやポールは使用前にチェックし、摩耗、破損、部品の欠落が見つかった場合は使用しないでください。
- ・スタンドやポールを立てるサブウーファーは、平坦で安定した所に置いてください。
- ・スタンドの脚は完全に開いて使用してください。
- ・下向きに設置するためのポールソケットを使うと、前面に転倒する危険が高まります。倒れないように対策を施してください。
- ・屋外で使用する場合は、風で倒れないように対策を施してください。また、本機に垂れ幕などを取り付けしないでください。
- ・出演者や観客が本機やスタンドに触れないように設置してください。

## サスペンション・ポイントを使用して吊り下げる場合の注意点

- ・吊り下げる作業は、安全なリギングに関する研修を積んだ適切な作業員が行ってください。
- ・吊り下げる場所、吊り下げに使用するワイヤーやアイボルトなどが、本機の重量に十分耐えられる強度があるか確認してください。アイボルトは、JBL PROFESSIONAL の「229-00009-01 (M10 × 35mm アイボルト× 3 とワッシャー× 3 のセット)」の使用を推奨します。
- ・落下防止のため、定期的に保守点検を行ってください。

## 背面パネルの各部の名称と機能



### ① GAIN つまみ

IN 端子に入力された信号のゲインを調整するつまみです。フルレンジ・スピーカーに搭載されている RCA の IN 端子のゲインは、ch2 の GAIN つまみで調整します。

### ② MIC ボタン (フルレンジ・スピーカーのみ)

IN 端子 (RCA 端子を除く) に接続する機器に応じて、入力可能な信号のレベルをマイク・レベルまたはライン・レベルに切り替えるボタンです。誤操作防止のため、切り替えには約 2 秒間長押ししてボタン上の LED を点滅させたあと、もう一度約 2 秒間長押しする必要があります。マイク・レベルに設定されている場合は、ボタン上の LED が緑色に点灯します。マイクロホンを接続する場合はマイク・レベルに、ワイヤレスシステム、音楽プレイヤー、電子楽器、ミキサーなどを接続する場合はライン・レベルに設定してください。

**備考** ・ RCA 端子の入力可能な信号レベルは常にライン・レベルです。MIC ボタンの影響は受けません。

### ③ SIGNAL LED

IN 端子への信号の入力状況を示す LED です。信号が入力されている場合は緑色に点灯します。

### ④ IN 端子

バランス仕様 XLR 3ピンとバランス仕様標準フォーンプラグに対応した複合型入力端子です。フルレンジ・スピーカーは接続する機器に応じて、入力可能な信号レベルを MIC ボタンで切り替えてください。フルレンジ・スピーカーの ch2 には RCA の入力端子も搭載されています。

**備考** ・ RCA 端子に入力された信号は、モノラルにミックスされて ch2 に入ります。また、RCA 端子は ch2 の複合型入力端子と並列に接続されており、2 つの端子に同時に信号を入力するとモノラルにミックスされます。

### ⑤ MIX OUT 端子 (フルレンジ・スピーカーのみ)

バランス仕様 XLR 3ピンの出力端子です。ch1/2 に入力された信号をモノラルにミックスして出力します。出力信号は 50/50 MIX ボタンで選択します。

**備考** ・ MIX OUT 端子から出力される信号は DSP を経由するため遅延が発生します。

#### ⑥ 50/50 MIX ボタン (フルレンジ・スピーカーのみ)

MIX OUT 端子から出力される信号を選択するボタンです。ch1/2の信号をGAINつまみで調整したゲインバランスでミックスして出力する場合はOFFに、GAINつまみの設定に関係なく入力されたままのバランスでミックスして出力する場合はONにしてください。誤操作防止のため、切り替えには約2秒間の長押しが必要です。ONに設定されている場合は、ボタン上のLEDが緑色に点灯します。

#### ⑦ THRU 端子 (サブウーファーのみ)

バランス仕様XLR3ピンの出力端子です。ch1/2に入力された信号をモノラルにミックスして出力します。GAINつまみの影響は受けません。出力信号にハイパス・フィルターを掛ける場合は、HI PASS ボタンをONにしてください。

**備考** ・ THRU 端子から出力される信号はDSPを経由するため遅延が発生します。

#### ⑧ HI PASS ボタン (サブウーファーのみ)

ハイパス・フィルターのON/OFFボタンです。ONにすると、THRU端子から出力される信号に80Hz、24dB/octのハイパス・フィルターが掛かります。THRU端子にフルレンジ・スピーカーを接続する場合に便利です。誤操作防止のため、切り替えには約2秒間の長押しが必要です。ONに設定されている場合は、ボタン上のLEDが緑色に点灯します。

**備考** ・ THRU 端子を使用してPRX800W Powered Seriesのフルレンジモデルと接続する場合、HI PASS ボタンをONにするとともに「PRX Connect」のフルレンジモデルの操作画面に表示される「SUB FILTER」もONにしてください。

#### ⑨ LIMIT LED

パワーアンプ直前の信号の状況を示すLEDです。リミッターが動作すると黄色に点灯します。点灯した場合は入力機器の音量やGAINつまみを下げてください。

#### ⑩ FRONT LED ボタン

前面の下部にある電源がONになっていることを示すFRONT LEDの点灯をON/OFFするボタンです。ONに設定されている場合はLEDが青色に点灯します。

#### ⑪ MAIN/MONITOR ボタン (PRX812W Powered、PRX815W Poweredのみ)

##### NORM/BOOST ボタン (PRX825W Powered、PRX835W Poweredのみ)

内蔵のEQプリセットの切り替えボタンです。用途に合わせて最適なEQが掛けられます。詳細は以下の通りです。

##### MAIN/MONITOR ボタン

メインスピーカーとして使用する場合はMAINを、ステージモニターとして使用する場合はMONITORを選択してください。MONITORに設定されている場合は、ボタン上のLEDが緑色に点灯します。

##### NORM/BOOST ボタン

EQを掛けない場合はNORMを、低域と高域を増強したい場合はBOOSTを選択してください。BOOSTに設定されている場合は、ボタン上のLEDが緑色に点灯します。

#### ⑫ POLARITY ボタン (サブウーファーのみ)

位相を180°反転させるためのボタンです。反転している場合は、ボタン上のLEDが緑色に点灯します。

#### ⑬ CONNECT ボタン

外部端末から専用アプリケーション「PRX Connect」を使用して本機を制御する際に使用します。詳細はP.8の「「PRX Connect」によるコントロール」をご覧ください。

#### ⑭ REMOTE EQ LED

外部端末による音響設定が有効になっていることを示すLEDです。有効になっている場合、オレンジ色に点灯します。

#### ⑮ POWER LED

電源がONになっていることを示すLEDです。電源スイッチがONになっている場合、青色に点灯します。点滅時は起動中で、点灯に変わったら使用可能な状態です。

#### ⑯ 電源スイッチ

電源のON/OFFスイッチです。

#### ⑰ 電源端子

付属の電源コードの接続端子です。

# 「PRX Connect」によるコントロール

PRX800W Powered Series は、iPad/Android 端末用のアプリケーション「PRX Connect」を使用してワイヤレスで制御するスピーカー・システムです。無線 LAN ルーターを使用することで、複数のスピーカーを 1 台の端末からまとめて制御できます。PRX Connect で設定した値はスピーカー内部に保存でき、次回からは端末を接続することなく利用することもできます。端末内に複数の設定データ (Show データ) を保存しておくことも可能です。PRX Connect は無償でダウンロードできます。

**注意** ・本機に出力レベルを調整するつまみはありません。出力レベルは端末からのみ操作できます。初めて使用する場合や工場出荷時の状態にリセットした場合、内部に保存されている設定データの状態が不明な場合は、必ず端末に接続して出力レベルの値を確認してから音を出してください。



「PRX Connect」の操作画面

## PRX Connect を使用するために必要なもの

- ・以下の動作環境を満たす iPad または Android 端末  
iPad : iOS 7.0 以降  
Android 端末 : Android OS 4.4 以降
- ・2.4GHz 帯対応の無線 LAN ルーター ( 複数のスピーカーをコントロールする場合に必要な )  
※本機は 5GHz 帯での通信には対応していません。

## PRX Connect のダウンロードとインストール

iPad を使用する場合は App Store、Android 端末を使用する場合は Google play にアクセスし、「PRX Connect」と検索してください。検索結果に表示された PRX Connect をダウンロードおよびインストールします。



「PRX Connect」のアイコン

## 端末との接続

端末との接続方法は、コントロールしたいスピーカーが 1 台の場合と複数の場合で異なります。複数のスピーカーをコントロールするためには別途 2.4GHz 帯対応の無線 LAN ルーターが必要です。以下に、それぞれの接続方法を記載します。

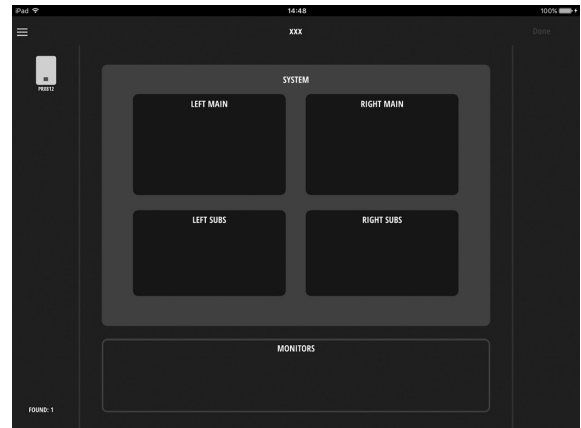
### コントロールしたいスピーカーが 1 台の場合の接続方法

- ① スピーカーの電源を ON にします。起動したら CONNECT ボタンを約 2 秒間押し続けて、ボタン上の LED をゆっくり点滅させます。
- ② 端末の Wi-Fi 設定を開き、スピーカーのアクセスポイント識別名 (PRX800 xx:xx:xx) を選択します。接続が確立したら PRX Connect を起動してください。PRX Connect を初めて起動する場合や、PRX Connect を完全に終了させた後に再び起動する場合は、セットアップを補助するセットアップ・ウィザード (「Welcome to PRX CONNECT」と表示された画面) が表示されます。表示された場合は「SKIP」ボタンを押して終了させてください。




- ③ 正常に接続されると CONNECT ボタン上の LED が素早い点滅に変わり、接続されたスピーカーが端末の画面左端に表示されます。

**備考** ・端末に設定データが再現されている状態で新たなスピーカーを接続すると、スピーカーの配置状況を確認する「Open Show」ウィンドウが表示されます。P.13 の「設定データの呼び出し方法」に従って設定を進めてください。

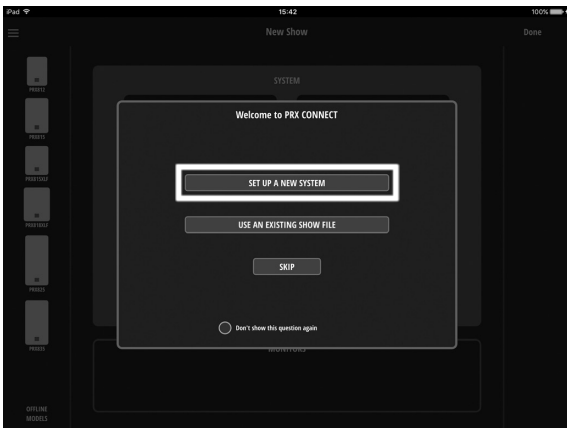




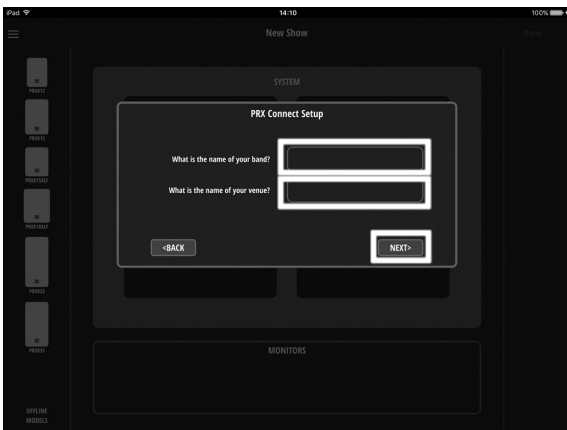
## コントロールしたいスピーカーが複数の場合の接続方法

ここでは、セットアップを補助するセットアップ・ウィザード(「Welcome to PRX CONNECT」と表示された画面)を使用した接続方法について解説します。セットアップ・ウィザードは、PRX Connect を初めて起動する場合や、PRX Connect を完全に終了させた後に再び起動する場合に表示されます。セットアップ・ウィザードが表示されない場合は、PRX Connect を完全に終了させた後に再び起動してください。それでも起動しない場合は、画面左上にある「」にタッチして、「Settings」内の「Show Onboard Help」にチェックが入っているか確認してください。

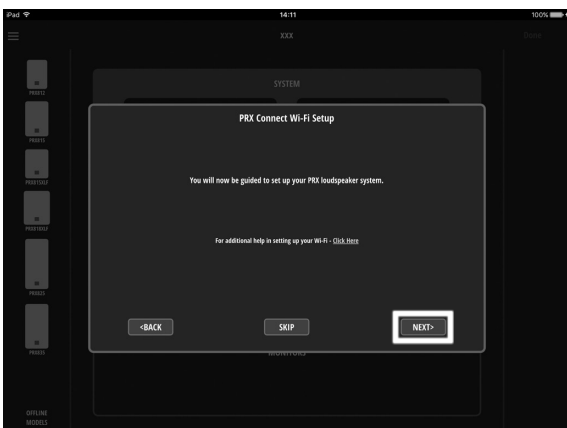
- ① 無線 LAN ルーターの電源を ON にします。
- ② PRX Connect を起動し、セットアップ・ウィザードの「SET UP A NEW SYSTEM」にタッチします。



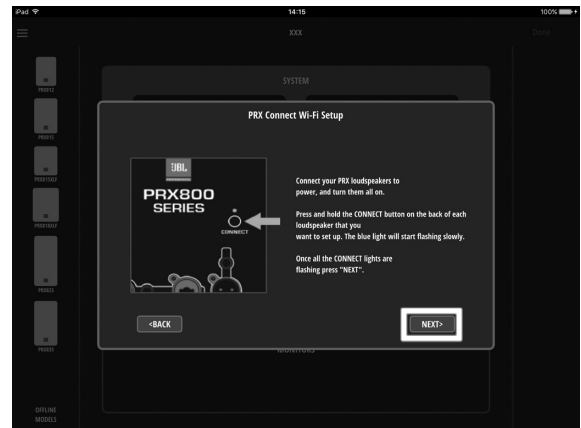
- ③ 「What is the name of your band?」にバンド名やイベント名、「What is the name of your venue?」に会場名を入力してください。会場名が、設定データを内部に保存する際のファイル名になります。入力したら「NEXT>」にタッチします。



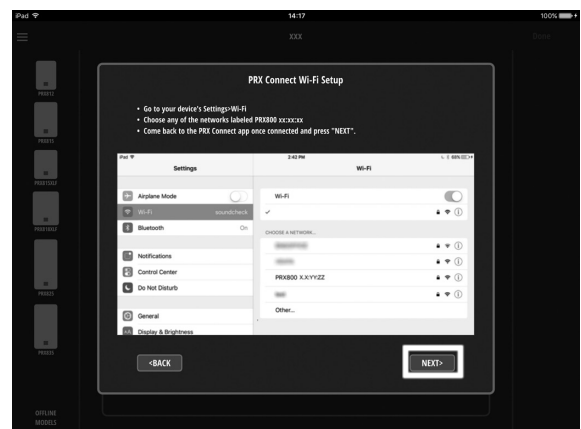
- ④ 「NEXT>」にタッチします。



- ⑤ コントロールしたい全てのスピーカーの電源を ON にします。起動したらコントロールしたい全てのスピーカーの CONNECT ボタンを約 2 秒間押し続けて、ボタン上の LED をゆっくり点滅させてください。全て点滅させたら「NEXT>」にタッチします。



- ⑥ 端末の Wi-Fi 設定を開き、コントロールしたいスピーカーのうちのいずれか 1 台のアクセスポイント識別名 (PRX800 xx:xx:xx) を選択します。接続が確立したら PRX Connect を再び起動し「NEXT>」にタッチします。



⑦ 以下に従って無線 LAN ルーターの情報を入力してください。入力したら「NEXT>」にタッチします。

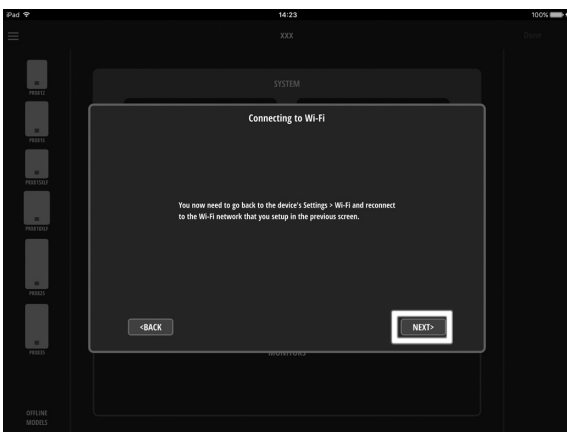
**SSID**：無線 LAN ルーターのアクセスポイント識別名 (SSID) を入力します。

**PASSWORD**：無線 LAN ルーターの暗号化キー (セキュリティーキー) を入力します。入力内容を確認したい場合は、その下の「Show Password」にチェックを入れてください。

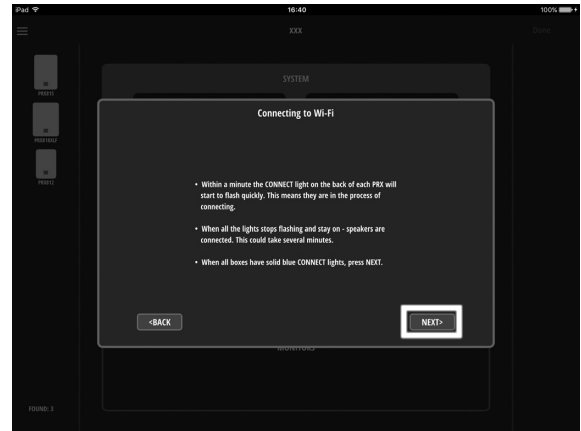
**SECURITY**：無線 LAN ルーターの暗号化キーが WEP の場合は「WEP」、AES の場合は「WPA2」、暗号化されていない場合は「None」にチェックを入れます。



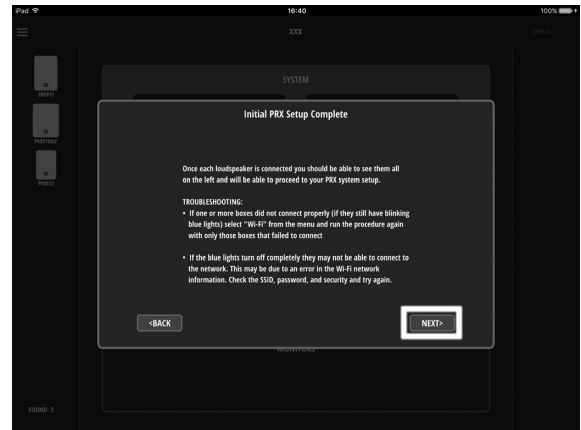
⑧ 端末の Wi-Fi 設定を開いて無線 LAN ルーターのアクセスポイント識別名を選択します。接続が確立したら PRX Connect を再び起動してください。全てのスピーカーの CONNECT ボタン上の LED が素早く点滅し無線 LAN ルーターとの接続を試みます。正常に接続されると CONNECT ボタン上の LED が点灯に変わり、接続されたスピーカーが端末の画面左端に表示されます。接続が確立したら「NEXT>」にタッチしてください。



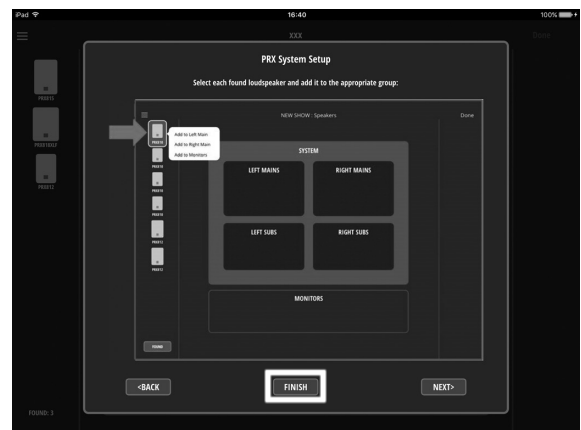
⑨ 「NEXT>」にタッチします。



⑩ 「NEXT>」にタッチします。



⑪ 「FINISH」にタッチします。

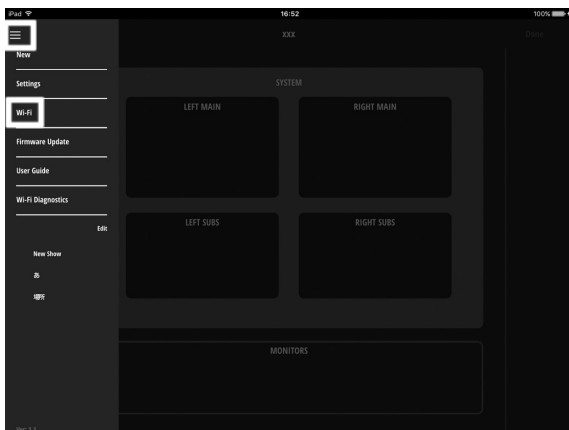


## 接続できないスピーカーがあった場合やスピーカーを新たに追加したい場合の接続方法

- ① 接続できなかった全てのスピーカーの CONNECT ボタン上の LED がゆっくり点滅しているか確認してください。素早く点滅している場合は、CONNECT ボタンを 1 度押し、もしくは長押しして消灯させた後に約 2 秒間押し続けてゆっくり点滅させます。点灯している場合や消灯している場合も、CONNECT ボタンを約 2 秒間押し続けてゆっくり点滅させてください。新たに追加したいスピーカーも同様です。
- ② 端末の Wi-Fi 設定を開き、接続できなかったスピーカーのうちいずれか 1 台のアクセスポイント識別名 (PRX800 xx:xx:xx) を選択します。接続が確立したら PRX Connect を再び起動してください。



- ③ 画面左上の「☰」にタッチして「Wi-Fi」を選択してください。



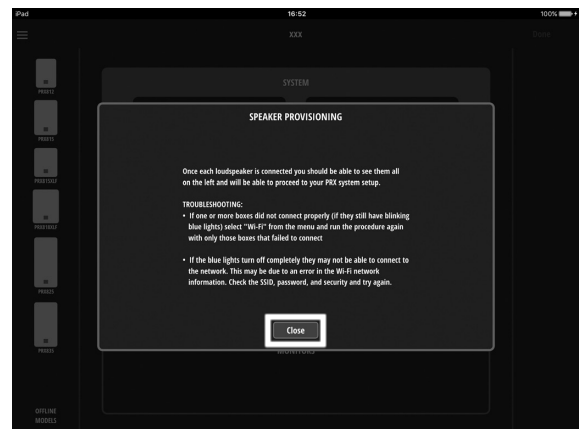
- ④ 無線 LAN ルーターの情報が表示されるので、間違いがなければ「NEXT>」にタッチします。



- ⑤ 追加したいスピーカーが 1 台の場合は「Single」、複数台の場合は「Group」にチェックを入れて、「SUBMIT」にタッチします。



- ⑥ 「Close」にタッチします。



- ⑦ 端末の Wi-Fi 設定を開いて無線 LAN ルーターのアクセスポイント識別名を選択します。接続が確立したら PRX Connect を再び起動してください。既に接続されていたスピーカーに加えて、新たに接続されたスピーカーが画面左端に表示されます。

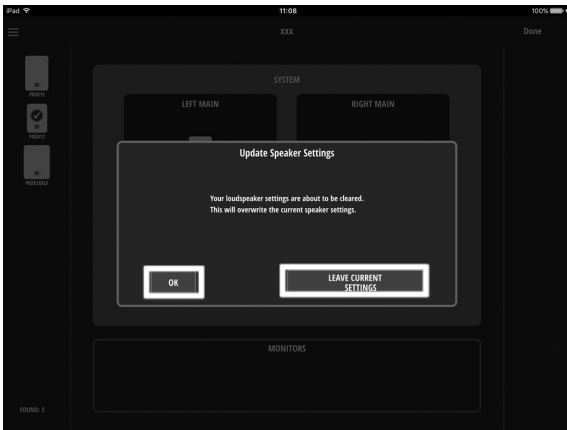
### 備考

- うまく接続できない場合は以下をお試しください。
  - 無線 LAN ルーターのアクセスポイント識別名 (SSID) や暗号化キー (セキュリティキー) が間違っていないか確認してください。大文字小文字も識別します。
  - 無線 LAN ルーターが 5GHz に対応している場合、アクセスポイント識別名 (SSID) が 5GHz に設定されていないか確認してください。本機は 2.4GHz 帯での通信のみに対応しています。
  - 無線 LAN ルーターには、ゲストポート (ゲスト SSID) やネットワーク分離機能などと呼ばれる、他の接続機器とつながないように分離しつつも、インターネットだけに接続できる機能を備えたモデルがあります。この機能が有効になっていると本機の接続ができません。他のアクセスポイント識別名 (SSID) を使うか機能を無効にしてください。
  - 工場出荷時の状態へのリセット (ハードリセット) を実行して、本機のネットワーク設定を初期状態に戻してください。以前のネットワーク設定が内部に残っていると、正常に接続できない場合があります。リセットの詳細は P.17 をご覧ください。

## PRX Connect の操作方法


### スピーカーの操作方法

- ① 左端に表示されたスピーカーを、実際の設置場所に基づいて中央の SYSTEM や MONITORS の各エリアに配置します。配置すると「Update Speaker Settings」というウィンドウが表示されるので、端末内に保存された設定を有効にする場合は「OK」に、スピーカー内に保存された設定を有効にする場合は「LEAVE CURRENT SETTINGS」にタッチしてください。



**注意** ・「Update Speaker Settings」で端末内に保存された設定を有効にした場合、即座にスピーカーの設定が変更されます。突然大きな音が出ないように、音量の設定には十分ご注意ください。

**備考** ・メインのフルレンジ・スピーカーは LEFT/RIGHT MAIN エリアに最大 4 台ずつ、サブウーファーは LEFT/RIGHT SUB エリアに最大 2 台ずつ、ステージモニターは MONITORS エリアに最大 8 台配置できます。

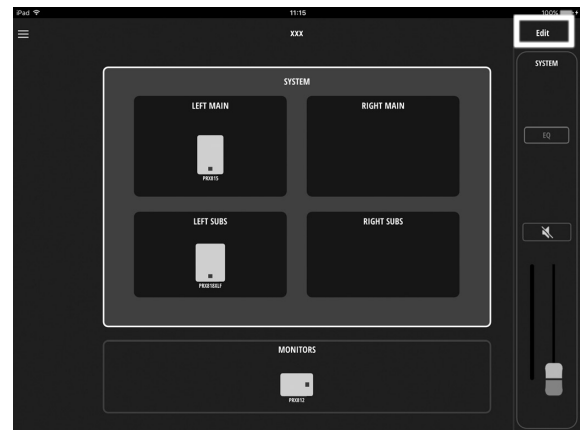
- ・ LEFT/RIGHT MAIN エリアにはフルレンジ・スピーカーのみ、LEFT/RIGHT SUB エリアにはサブウーファーのみ、MONITORS エリアには PRX812W Powered と PRX815W Powered のみが配置できます。
- ・ 左端に表示されたスピーカーにタッチすると、実際に接続されているスピーカーの POWER LED や FRONT LED を点滅させることができます。画面左上の「」にタッチして Settings 内にある「Speaker Audible Locate」を ON にすることで、接続されているスピーカーから確認音を出すことも可能です。
- ・ 配置されたスピーカーにタッチすると「×」と「Unmatch」が表示されます。「×」にタッチすると配置をキャンセルできます。「Unmatch」にタッチすると実際のスピーカーとの接続を解除できます。

- ② 全てのスピーカーの配置が終わったら、画面右上の「Done」にタッチします。タッチすると、実際にスピーカーの設定を行う Edit モードに切り替わります。



- ③ スピーカーやエリアにタッチすると、そこで設定可能な項目が画面右端に表示されます。表示された項目にタッチして設定を変更してください。設定を変更するとスピーカーに即座に反映され内部に保存されます。

- ④ 設定が終わったら、画面右上の「Edit」にタッチして Edit モードを終了させてください。

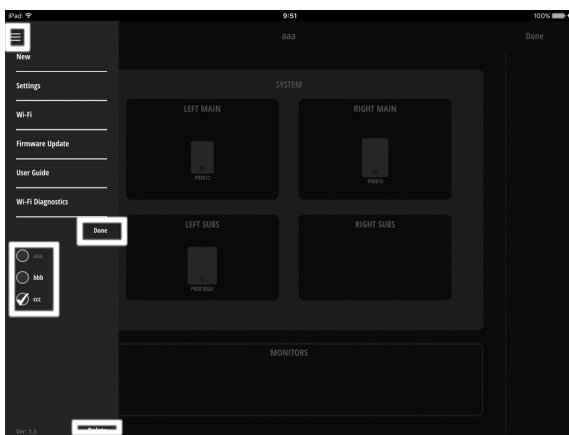


## 設定データ (Show データ) の保存方法と消去方法

セットアップ・ウィザードや画面左上の「」内の「New」で新たに作成した設定データは、以下のようなタイミングで自動的に端末内部に保存されます。既存の設定データに変更を加えた場合も同様です。

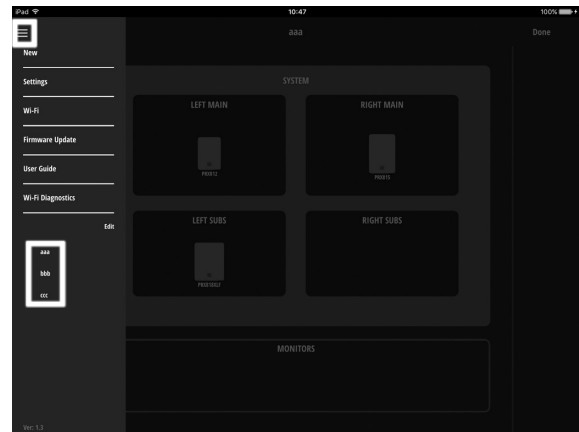
- ・アプリケーションを終了させた場合
- ・異なる設定データ呼び出した場合
- ・新たな設定データを作成した場合

画面左上の「」にタッチすると、左下に端末内に保存されている設定データが一覧で表示されます。消去したい場合は、「Edit」にタッチして消去したいデータを選択した後、「Delete」にタッチします。終了後「Done」にタッチしてください。

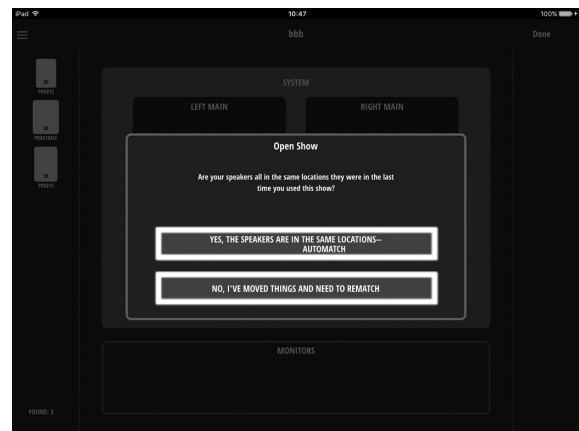


## 設定データの呼び出し方法

- ① 画面左上の「」にタッチすると、左下に端末内に保存されている設定データが一覧で表示されます。呼び出したい設定データにタッチしてください。



- ② 「Open Show」というウィンドウが表示されるので、呼び出したい設定データを最後に使用したときと同じ場所に実際のスピーカーが設定されている場合は「YES, THE SPEAKERS ARE IN THE SAME LOCATIONS AUTOMATCH」に、同じ場所に設置されていない場合は「NO, I'VE MOVED THINGS AND NEED TO REMATCH」にタッチします。



- ③ タッチしたボタンによって、以下のように操作してください。

### 「YES, THE SPEAKERS ARE IN THE SAME LOCATIONS AUTOMATCH」にタッチした場合

「Update Speaker Settings」というウィンドウが表示されるので、端末内に保存された設定を有効にする場合は「OK」に、スピーカー内に保存された設定を有効にする場合は「LEAVE CURRENT SETTINGS」にタッチしてください。

### 「NO, I'VE MOVED THINGS AND NEED TO REMATCH」にタッチした場合

左端に表示されたスピーカーを、実際の設置場所に基づいて中央のSYSTEMやMONITORSの各エリアに配置してください。

## その他の機能

画面左上の「☰」にタッチすると、各種設定や確認を行うためのメニューが表示されます。詳細は以下の通りです。

### NEW

新たに設定データを作成します。タッチするとキーボードが表示されるので、設定データの名前を入力してください。

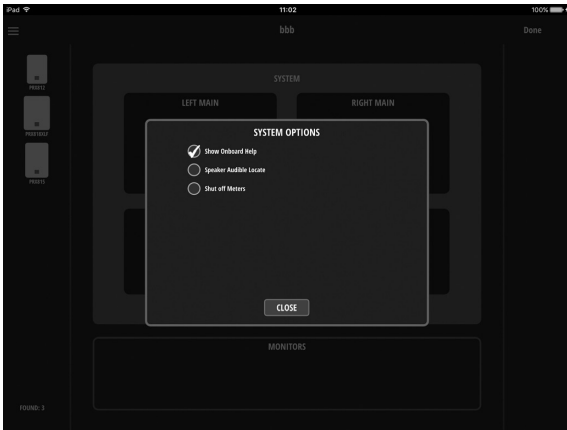
### Settings

以下の項目の設定を行うウィンドウが開きます。

**Show Onboard Help** : セットアップ・ウィザードの表示 / 非表示を切り替えます。

**Speaker Audible Locate** : 接続が確立して左端に表示されたスピーカーにタッチしたときに、実際に接続されているスピーカーのPOWER LEDやFRONT LEDの点滅に加えて、スピーカーから確認音を出すか出さないかを切り替えます。

**Shut off Meters** : 右端のマスターフェーダー左横にある、レベルメーターの有効 / 無効を切り替えます。



### Wi-Fi

セットアップ・ウィザードを使用しても接続できないスピーカーがあった場合や、スピーカーを新たに加えたい場合に、接続の設定を行うウィンドウが開きます。詳細はP.11の「接続できないスピーカーがあった場合やスピーカーを新たに加えたい場合の接続方法」をご覧ください。

### Firmware Update

本機のファームウェアのアップデートを行うウィンドウが開きます。詳細はP.16の「ファームウェアのアップデート」をご覧ください。

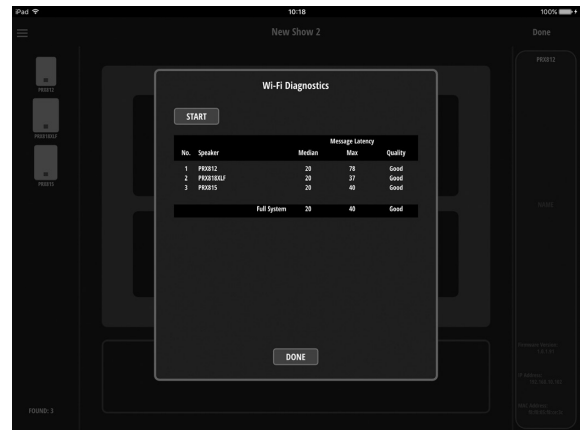
### User Guide

スピーカーの操作方法を英文で解説するウィンドウが開きます。



### Wi-Fi Diagnostics

スピーカーとの接続状態を診断するウィンドウが開きます。診断を開始する場合は「START」にタッチしてください。QualityがGoodになっていれば接続状態は良好です。



# セットアップ

## 接続と電源の ON

- ① 本機の GAIN つまみを最小にします。
- ② 外部機器の出力音量を最小にして、IN 端子に接続します。
- ③ 本機の電源端子に電源コードを接続します。
- ④ 電源コードのもう一方のプラグをコンセントに接続します。
- ⑤ 外部機器の電源を ON にします。
- ⑥ 本機の電源スイッチを ON にします。

**備考** 電源スイッチを ON にして使用可能な状態になるまで、約 3 秒程度の時間が掛かります。POWER LED が点滅から点灯に変わったら使用可能な状態です。

## 音量の調整

本機に出力レベルを調整するつまみはありません。出力レベルは端末からのみ操作できます。初めて使用する場合や工場出荷時の状態にリセットした場合、内部に保存されている設定データの状態が不明な場合は、必ず端末に接続して出力レベルの値を確認してから音を出してください。ここでは端末を接続した状態での、メインスピーカーの音量の設定方法を記載します。

- ① P.8 の「端末との接続」を参照して、端末から本機を操作できる状態にします。
- ② PRX Connect の SYSTEM エリアにあるマスターフェーダーが絞り切りになっているか確認します。
- ③ フルレンジ・スピーカーは IN 端子 (RCA 端子を除く) に接続した機器に応じて、MIC ボタンで入力信号レベルを切り替えます。マイクロホンに接続する場合はマイク・レベルに、ワイヤレスシステム、音楽プレイヤー、電子楽器、ミキサーなどを接続する場合はライン・レベルに設定してください。
- ④ 外部機器の出力音量を、実際に使用する時の状態に設定します。
- ⑤ PRX Connect の SYSTEM エリアにあるマスターフェーダーを約 8 分目まで上げます。
- ⑥ 出力音を聴きながら、各スピーカーのゲインつまみを希望の音量になるまで回します。2 系統ある IN 端子の両方に信号が入力されている場合は、各入力のバランスを調整してください。
- ⑦ 最終的な音量を PRX Connect の SYSTEM エリアにあるマスターフェーダーで調整します。各スピーカーにタッチすることでそれぞれのマスターフェーダーが表示されるので、スピーカー間の音量バランスを調整することも可能です。

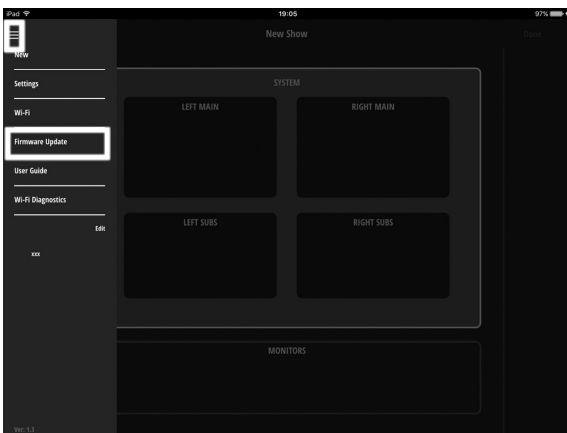
## 電源の OFF

- ① 本機の GAIN つまみを最小にします。
- ② 外部機器の出力音量を最小にします。
- ③ 本機の電源スイッチを OFF にします。
- ④ 外部機器の電源を OFF にします。

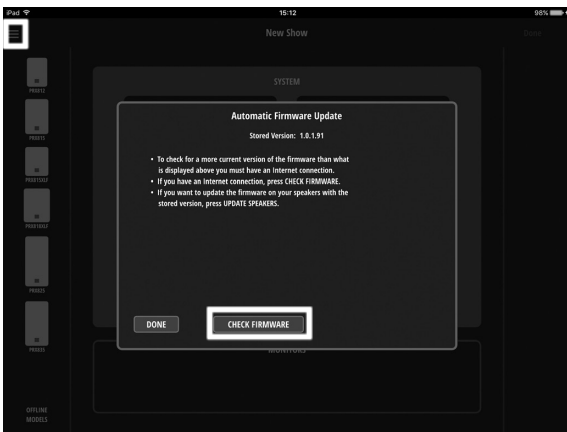
# ファームウェアのアップデート

本機のファームウェアのアップデートは端末を経由して行います。アップデートの方法は以下の通りです。

- ① 端末をインターネットに接続します。
- ② PRX Connectを起動します。セットアップ・ウィザード(「Welcome to PRX CONNECT」と表示された画面)が表示された場合は「SKIP」ボタンにタッチして終了させてください。
- ③ 画面左上の「☰」にタッチして「Firmware Update」を選択し、ファームウェアのアップデート画面(「Automatic Firmware Update」と表示された画面)を表示します。

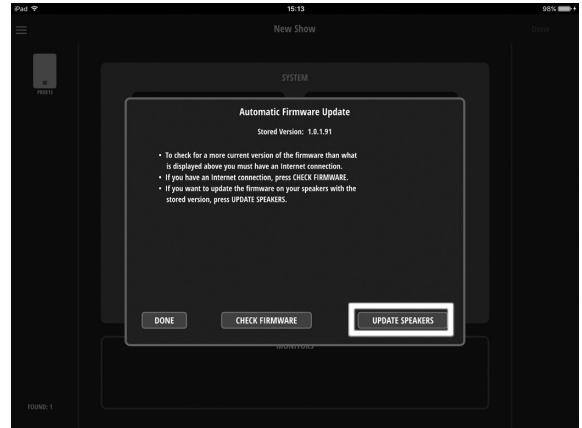


- ④ 「CHECK FIRMWARE」にタッチします。インターネット上のファームウェアをチェックして、最新バージョンのものがあれば、それを端末内に自動でダウンロードします。

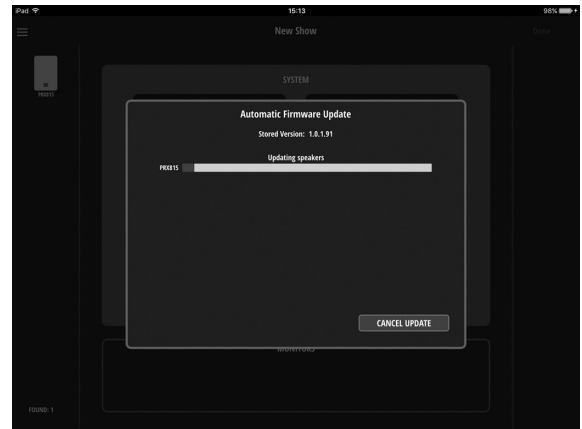


- ⑤ 端末をスピーカーと接続します。

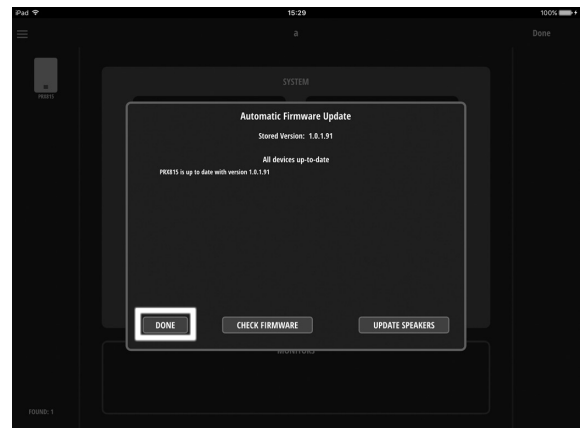
- ⑥ 画面左上の「☰」にタッチして「Firmware Update」を選択し、ファームウェアのアップデート画面を表示します。



- ⑦ 「UPDATE SPEAKERS」にタッチします。接続しているスピーカーで、ファームウェアのバージョンが古いモデルのアップデートが自動的に開始されます。



- ⑧ アップデートが完了すると、「ALL devices up-to-date」の文字の下に、接続されているスピーカーのモデル名とそのバージョンが一覧で記載されます。「DONE」にタッチすればアップデートは終了です。





# リセット

---

本機のリセットには、スピーカー内部に保存されている音響設定のみを工場出荷時の状態に戻す「ソフトリセット」と、音響設定とネットワーク設定の両方を工場出荷時の状態に戻す「ハードリセット」があります。それぞれの実行方法は以下の通りです。

**備考** ・ 端末による音響設定が有効になっている場合、REMOTE EQ LED がオレンジ色に点灯します。

**注意** ・ リセットを行うと、内部に保存されているユーザー設定が失われ、元に戻すことはできません。ご注意ください。

## ソフトリセットの実行方法

- ① スピーカーの電源を ON にします。
- ② フルレンジ・スピーカーでは「MAIN/MONITOR スイッチ」または「NORM/BOOST スイッチ」、サブウーファーでは「POLARITY スイッチ」を約 5 秒間押し続けてください。スイッチを離すとリセットが完了します。端末による音響設定が有効になっていた場合は、REMOTE EQ LED が消灯します。

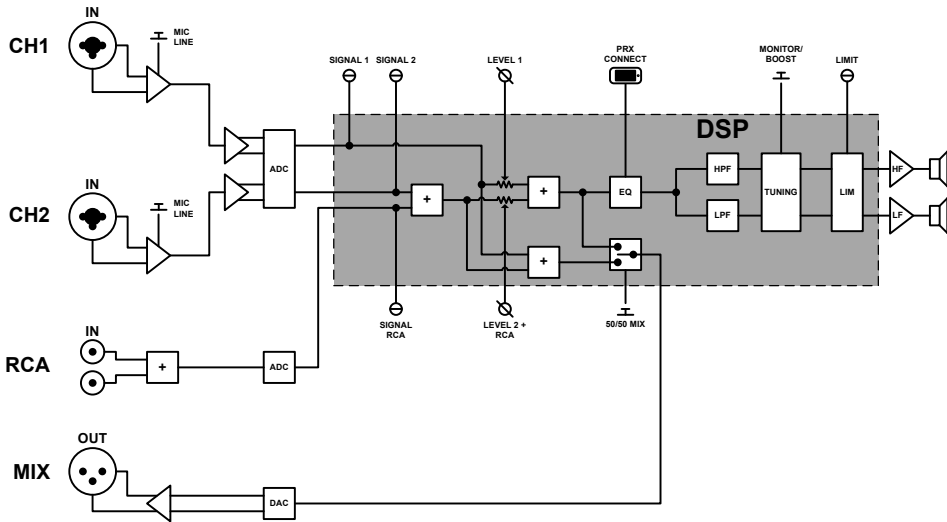
## ハードリセットの実行方法

- ① スピーカーの電源を OFF にします。
- ② フルレンジ・スピーカーでは「MAIN/MONITOR スイッチ」または「NORM/BOOST スイッチ」、サブウーファーでは「POLARITY スイッチ」を押したまま、電源を ON にします。約 5 秒間押し続けてください。
- ③ スイッチを離すとリセットが完了し起動が始まります。POWER LED が点滅から点灯に変わったら使用可能な状態です。

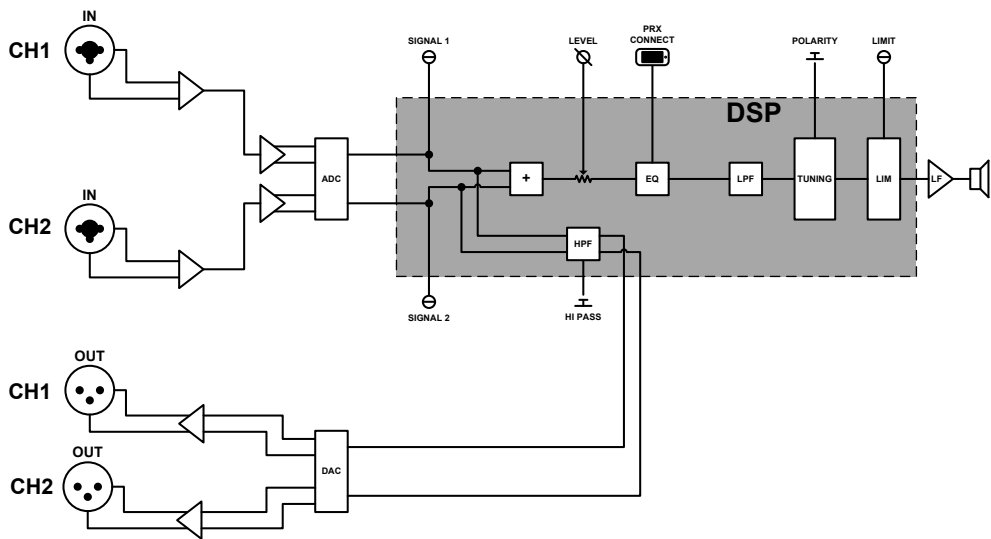
# ブロックダイアグラム

## フルレンジ・スピーカー

※ PRX825W Powered と PRX835W Powered はドライバーの構成が異なります。



## サブウーファー



# 仕様

		PRX812W Powered	PRX815W Powered	PRX825W Powered	PRX835W Powered
周波数レンジ (-10dB)		45Hz ~ 20kHz	43Hz ~ 20kHz	42Hz ~ 19kHz	35Hz ~ 20kHz
指向角度 (水平×垂直)		90° × 50°			
最大音圧レベル		135dB SPL	137dB SPL	138dB SPL	
ドライバー構成	LF	272G(12 インチ (305mm))	275G(15 インチ (381mm))	275G (15 インチ (381mm)) × 2	275G(15 インチ (381mm))
	MF	—			196H(6.5 インチ (165mm))
	HF	2408H-2(1.5 インチ (38mm))			
クロスオーバー周波数		1.85kHz	2.0kHz	2.4kHz	580Hz, 2.1kHz
パワーアンプ		1500W(750W × 2), Class D			
入力	チャンネル数	2			
	端子・形式	ch1 : XLR (3P) と標準フォーン (3P) 対応の複合型端子 (バランス) ch2 : XLR (3P) と標準フォーン (3P) 対応の複合型端子 (バランス) または RCA (アンバランス)			
	インピーダンス	20k Ω (バランス)、10k Ω (アンバランス)			
電源		100V、50/60Hz			
消費電力 (1/8 出力時、ピンクノイズ)		60W	90W		70W
エンクロージャー		18mm 合板、Duraflex 仕上げ			
寸法 (W × H × D)		383 × 595 × 342mm ( 除突起部 )	445 × 697 × 360mm ( 除突起部 )	446 × 1057 × 538mm ( 除突起部 )	446 × 934 × 538mm ( 除突起部 )
質量		18kg	21kg	38kg	32kg
付属品		電源コード、和文取扱説明書			

		PRX815XLFW Powered	PRX818XLFW Powered
周波数レンジ (-10dB)		36 ~ 113Hz	30 ~ 103Hz
最大音圧レベル		131dB SPL	134dB SPL
ドライバー構成		2275H(15 インチ (381mm))	2278G(18 インチ (457mm))
クロスオーバー周波数		80Hz	
パワーアンプ		1500W, Class D	
入力	チャンネル数	2	
	端子・形式	XLR (3P) と標準フォーン (3P) 対応の複合型端子	
	インピーダンス	20k Ω (バランス)	
電源		100V、50/60Hz	
消費電力 (1/8 出力時、ピンクノイズ)		120W	
エンクロージャー		18/25mm 合板、Duraflex 仕上げ	18mm 合板、Duraflex 仕上げ
寸法 (W × H × D)		445 × 548 × 572mm( 除突起部 )	523 × 687 × 724mm( 除突起部 )
質量		27kg	37kg
付属品		電源コード、和文取扱説明書	



●商品写真やイラストは、実際の商品と一部異なる場合があります。●掲載内容は発行時のもので、予告なく変更されることがあります。変更により発生したいかなる損害に対しても、弊社は責任を負いかねます。●記載されている商品名、会社名等は各社の登録商標、または商標です。

**HIBINO**

<http://www.hibino.co.jp/>  
E-mail: [proaudiosales@hibino.co.jp](mailto:proaudiosales@hibino.co.jp)

ヒビノ株式会社 ヒビノプロオーディオセールス Div.

営業部  
〒108-0075 東京都港区港南3-5-12  
TEL: 03-5783-3110 FAX: 03-5783-3111

札幌オフィス  
〒063-0813 北海道札幌市西区琴似三条1-1-20  
TEL: 011-640-6770 FAX: 011-640-6776

大阪ブランチ  
〒564-0051 大阪府吹田市豊津町18-8  
TEL: 06-6339-3890 FAX: 06-6339-3891

名古屋オフィス  
〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南3-4-26  
TEL: 052-589-2712 FAX: 052-589-2719

福岡ブランチ  
〒812-0041 福岡県福岡市博多区吉塚4-14-6  
TEL: 092-611-5500 FAX: 092-611-5509